



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月13日

上場会社名 ユシロ化学工業株式会社
 コード番号 5013 URL <https://www.yushiro.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大胡 栄一

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート統括本部 財務部長 (氏名) 横井 宏紀

TEL 03-3750-6793

定時株主総会開催予定日 2021年6月24日

配当支払開始予定日

2021年6月9日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	31,661	15.1	1,095	50.5	1,517	44.2	978	48.9
2020年3月期	37,274	6.0	2,213	6.6	2,718	3.2	1,913	10.9

(注) 包括利益 2021年3月期 1,294百万円 (79.3%) 2020年3月期 722百万円 (75.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	72.03		3.3	3.2	3.5
2020年3月期	140.91		6.4	5.6	5.9

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 174百万円 2020年3月期 382百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	48,369	32,170	62.3	2,217.95
2020年3月期	47,320	31,867	63.0	2,194.75

(参考) 自己資本 2021年3月期 30,133百万円 2020年3月期 29,798百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	1,574	555	208	8,067
2020年3月期	2,829	1,111	1,508	7,150

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		20.00		28.00	48.00	651	34.1	2.2
2021年3月期		15.00		23.00	38.00	516	52.8	1.7
2022年3月期(予想)		20.00		28.00	48.00		50.2	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	13.7	1,800	64.3	2,100	38.4	1,300	32.9	95.60

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	13,900,065 株	2020年3月期	13,900,065 株
期末自己株式数	2021年3月期	314,118 株	2020年3月期	322,818 株
期中平均株式数	2021年3月期	13,582,600 株	2020年3月期	13,577,308 株

(参考) 個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	13,752	16.0	311		501	57.4	489	50.9
2020年3月期	16,380	5.8	411	20.8	1,179	14.7	996	10.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	36.05	
2020年3月期	73.41	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	33,302		20,981		63.0		1,544.38	
2020年3月期	31,656		20,156		63.7		1,484.59	

(参考) 自己資本 2021年3月期 20,981百万円 2020年3月期 20,156百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料3ページ「1.(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、急速に収束した中国を除き新型コロナウイルス感染症拡大によるロックダウンや各国が実施した感染拡大防止策の影響により4月から6月にかけて停滞致しました。その後防止策の効果もあり経済自体は緩やかに回復しておりますが、収束の兆しはまだ見えず、今後の先行きについては依然不透明な状況にあります。また日本経済は、2020年5月の緊急事態宣言解除後は製造業を中心に徐々に回復しているものの、2021年4月には3度目の緊急事態宣言が出されるなど未だ収まる気配のない新型コロナウイルス感染症拡大が経済回復に影響を与えております。その様な状況にはありますが、当社の主要顧客である日系自動車メーカー及び自動車部品メーカーは、半導体不足の懸念はあるものの中国の急激な回復にも牽引されてメーカー及び地域によって多少差はありますが回復しております。

このような環境下、売上高は前期比15.1%減の31,661百万円となりました。営業利益は、売上高の減少が響き前期比50.5%減の1,095百万円、経常利益は前期比44.2%減の1,517百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比48.9%減の978百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。なお、セグメント利益は営業利益ベースの数値です。

[日本]

主要顧客の稼働率はかなり回復しておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大による第1四半期の減収が大きく影響し前期比15.6%減の14,409百万円、セグメント利益は第3四半期までは損失ではありましたが前期比95.8%減の31百万円となりました。

[南北アメリカ]

自動車生産増加に伴う主要顧客の稼働率の回復及び米国のクオリケム社が新型コロナウイルスの感染症拡大の影響を受けにくい業種の得意先が多いものの上半期の落ち込みをカバーすることはできませんでした。その結果、売上高は前期比16.8%減の9,381百万円、セグメント利益は前期比32.9%減の661百万円となりました。

[中国]

新型コロナウイルス感染症拡大による影響により1月、2月は大きく業績が落ち込みましたが、4月以降急激に回復したこともあり、売上高は前期とほぼ同額の4,466百万円、セグメント利益はコストの削減効果により前期比46.6%増の421百万円となりました。

[東南アジア/インド]

新型コロナウイルスの感染症拡大の影響度合いによって拠点で多少ばらつきはありますが、マレーシアやインドネシアで実施している自動車購入時の減税効果もありセグメント全体としては回復基調にあります。その結果、売上高は前期比25.6%減の3,403百万円、セグメント利益は前期比41.6%減の346百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産

流動資産は、前期末に比べ3.9%増加し、19,330百万円となりました。主な要因として、原材料及び貯蔵品が168百万円減少し、一方、現金及び預金が917百万円増加したことが挙げられます。

固定資産は、前期末に比べ1.1%増加し、29,039百万円となりました。主な要因として、有形固定資産が760百万円、のれんが295百万円、顧客関連資産が207百万円減少し、一方、投資有価証券が1,216百万円、投資その他の資産のその他が531百万円増加したことが挙げられます。

この結果、総資産は、前期末に比べて2.2%増加し、48,369百万円となりました。

②負債

流動負債は、前期末に比べ9.7%増加し、9,758百万円となりました。主な要因として、支払手形及び買掛金が151百万円減少し、一方、短期借入金が1,067百万円増加したことが挙げられます。

固定負債は、前期末に比べ1.8%減少し、6,441百万円となりました。主な要因として、長期借入金が218百万円

減少したことが挙げられます。

この結果、負債合計は、前期末に比べて4.8%増加し、16,199百万円となりました。

③純資産

純資産合計は前期末に比べ0.9%増加し、32,170百万円となりました。主な要因として、為替換算調整勘定が868百万円変動、一方、その他有価証券評価差額金が917百万円、利益剰余金が258百万円増加したことが挙げられます。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における、現金及び現金同等物の残高は、8,067百万円となり、前連結会計年度末に比べ917百万円増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により1,574百万円の収入超過となりました。主な要因は、法人税等の支払額521百万円、売上債権の増加額235百万円があったものの、税金等調整前当期純利益1,557百万円、減価償却費1,004百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により555百万円の支出超過となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入215百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出657百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により208百万円の収入超過となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出853百万円、配当金の支払額583百万円があったものの、短期借入金の純増減額998百万円、長期借入れによる収入706百万円によるものです。

(4) 今後の見通し

2021年度の経済情勢については、新型コロナウイルス感染症拡大の収束の兆しはまだ見えず、今後の先行きについては依然不透明であり、また、半導体の需給ひっ迫等はあるものの、世界自動車生産台数は回復が期待されております。

このような状況下、米国クオリケム社との協業を強力に推進し、また需要が見込める地域及び新規分野開拓に経営資源を投入することで、経営基盤の強化そして企業価値向上を目指してまいります。

次期の連結業績の見通しについては、売上高36,000百万円（前期比13.7%増）、営業利益は1,800百万円（前期比64.3%増）、経常利益は2,100百万円（前期比38.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,300百万円（前期比32.9%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社連結財務諸表は、現在、日本基準を適用しています。国際財務報告基準（IFRS）の適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,160	8,077
受取手形及び売掛金	6,636	6,723
商品及び製品	1,743	1,650
原材料及び貯蔵品	2,589	2,421
その他	486	471
貸倒引当金	△13	△14
流動資産合計	18,603	19,330
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,760	4,308
機械装置及び運搬具（純額）	1,489	1,391
工具、器具及び備品（純額）	482	378
土地	5,162	5,137
リース資産（純額）	89	87
建設仮勘定	101	22
有形固定資産合計	12,086	11,325
無形固定資産		
のれん	2,167	1,871
顧客関連資産	1,962	1,754
技術資産	647	567
商標権	568	497
その他	608	510
無形固定資産合計	5,954	5,201
投資その他の資産		
投資有価証券	9,567	10,784
保険積立金	656	644
長期預金	1	11
退職給付に係る資産	6	154
繰延税金資産	151	92
その他	307	839
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	10,676	12,511
固定資産合計	28,717	29,039
資産合計	47,320	48,369

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,705	3,554
短期借入金	2,344	3,411
リース債務	28	31
未払金	890	1,005
未払消費税等	117	105
未払法人税等	251	117
賞与引当金	396	396
役員賞与引当金	5	9
その他	1,152	1,126
流動負債合計	8,893	9,758
固定負債		
長期借入金	3,646	3,428
リース債務	69	63
繰延税金負債	1,166	1,316
役員退職慰労引当金	147	146
退職給付に係る負債	1,221	1,234
長期預り保証金	182	182
資産除去債務	16	20
その他	109	49
固定負債合計	6,559	6,441
負債合計	15,453	16,199
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	4,014	4,014
利益剰余金	24,577	24,835
自己株式	△427	△415
株主資本合計	32,414	32,684
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	731	1,649
為替換算調整勘定	△3,261	△4,129
退職給付に係る調整累計額	△86	△70
その他の包括利益累計額合計	△2,615	△2,550
非支配株主持分	2,069	2,037
純資産合計	31,867	32,170
負債純資産合計	47,320	48,369

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	37,274	31,661
売上原価	25,504	21,809
売上総利益	11,769	9,851
販売費及び一般管理費	9,555	8,755
営業利益	2,213	1,095
営業外収益		
受取利息	92	41
受取配当金	90	83
助成金収入	—	175
持分法による投資利益	382	174
その他	89	88
営業外収益合計	655	563
営業外費用		
支払利息	47	46
為替差損	55	12
その他	48	81
営業外費用合計	151	141
経常利益	2,718	1,517
特別利益		
投資有価証券売却益	—	55
固定資産売却益	18	—
事業譲渡益	—	51
特別利益合計	18	106
特別損失		
投資有価証券評価損	2	—
関係会社出資金評価損	—	65
特別損失合計	2	65
税金等調整前当期純利益	2,734	1,557
法人税、住民税及び事業税	667	408
法人税等調整額	△62	△74
法人税等合計	604	334
当期純利益	2,129	1,223
非支配株主に帰属する当期純利益	215	245
親会社株主に帰属する当期純利益	1,913	978

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	2,129	1,223
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△928	915
為替換算調整勘定	△187	△888
退職給付に係る調整額	△62	16
持分法適用会社に対する持分相当額	△227	28
その他の包括利益合計	△1,406	71
包括利益	722	1,294
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	540	1,043
非支配株主に係る包括利益	182	251

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,249	4,014	23,275	△426	31,112
当期変動額					
剰余金の配当			△610		△610
親会社株主に帰属する当期純利益			1,913		1,913
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,302	△0	1,302
当期末残高	4,249	4,014	24,577	△427	32,414

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,661	△2,880	△23	△1,242	1,922	31,791
当期変動額						
剰余金の配当						△610
親会社株主に帰属する当期純利益						1,913
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△929	△380	△62	△1,373	146	△1,226
当期変動額合計	△929	△380	△62	△1,373	146	75
当期末残高	731	△3,261	△86	△2,615	2,069	31,867

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,249	4,014	24,577	△427	32,414
当期変動額					
剰余金の配当			△583		△583
親会社株主に帰属する当期純利益			978		978
自己株式の処分			△0	11	11
連結除外に伴う利益剰余金の減少額			△35		△35
従業員奨励福利基金等			△100		△100
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	258	11	269
当期末残高	4,249	4,014	24,835	△415	32,684

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	731	△3,261	△86	△2,615	2,069	31,867
当期変動額						
剰余金の配当						△583
親会社株主に帰属する当期純利益						978
自己株式の処分						11
連結除外に伴う利益剰余金の減少額						△35
従業員奨励福利基金等						△100
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	917	△868	16	64	△32	32
当期変動額合計	917	△868	16	64	△32	302
当期末残高	1,649	△4,129	△70	△2,550	2,037	32,170

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,734	1,557
減価償却費	997	1,004
のれん償却額	222	180
持分法による投資損益 (△は益)	△382	△174
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	0	1
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	1	3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△49	37
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△6	△147
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	23	△1
受取利息及び受取配当金	△183	△124
支払利息	47	46
売上債権の増減額 (△は増加)	521	△235
たな卸資産の増減額 (△は増加)	165	60
仕入債務の増減額 (△は減少)	△658	△56
その他	△352	△233
小計	3,071	1,921
利息及び配当金の受取額	312	223
利息の支払額	△46	△48
法人税等の支払額	△508	△521
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,829	1,574
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50	△107
定期預金の払戻による収入	236	20
投資有価証券の取得による支出	△71	△9
投資有価証券の売却による収入	—	215
有形固定資産の取得による支出	△814	△657
有形固定資産の売却による収入	2	4
無形固定資産の取得による支出	△69	△65
その他	△343	44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,111	△555
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2	998
長期借入れによる収入	103	706
長期借入金の返済による支出	△876	△853
配当金の支払額	△610	△583
非支配株主への配当金の支払額	△35	△27
自己株式の取得による支出	△0	—
リース債務の返済による支出	△87	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,508	208
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△251
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	202	976
現金及び現金同等物の期首残高	6,947	7,150
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△59
現金及び現金同等物の期末残高	7,150	8,067

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症に対し、今後の広がり方や収束時期を予測することは困難であります。当社グループでは、外部の情報源に基づく情報等を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の影響が2022年3月期の一定期間にわたり継続すると仮定し、繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損会計等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に金属加工油剤を生産・販売しており、国内においては当社が、海外においては各地域をそれぞれ独立した現地法人が担当しており、取扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「南北アメリカ」、「中国」及び「東南アジア／インド」の4地域を報告セグメントとしております。なお、「日本」セグメントでのみ、金属加工油剤のほか、ビルメンテナンス製品を生産・販売しております。報告セグメントの各地域に属する国は、次のとおりであります。

報告セグメント	国名
日本	日本
南北アメリカ	アメリカ、ブラジル、メキシコ
中国	中国
東南アジア／インド	マレーシア、タイ、インド、インドネシア

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

I 前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上額 (注) 2
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,078	11,280	4,340	4,575	37,274	—	37,274
セグメント間の内部 売上高又は振替高	911	2	5	90	1,009	△1,009	—
計	17,989	11,282	4,345	4,665	38,283	△1,009	37,274
セグメント利益	759	985	287	593	2,625	△411	2,213
セグメント資産	15,358	6,652	4,850	4,956	31,817	15,503	47,320
その他の項目							
減価償却費	414	176	91	120	803	193	997
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	547	146	299	95	1,089	—	1,089

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1)セグメント利益(営業利益)の調整額△411百万円のうち主なものは、未実現利益の消去3百万円、クオリケム社買収に係るのれん及び無形固定資産の償却費△416百万円であります。
 - (2)セグメント資産の調整額15,503百万円には、全社資産の金額4,882百万円、持分法適用会社への投資額6,352百万円、クオリケム社買収に係るのれん及び無形固定資産5,343百万円並びに報告セグメント間の債権債務の相殺消去等△1,075百万円が含まれております。
 - (3)減価償却費の調整額193百万円は、クオリケム社買収に係る無形固定資産の償却費であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上額 (注) 2
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,409	9,381	4,466	3,403	31,661	—	31,661
セグメント間の内部 売上高又は振替高	788	3	—	68	861	△861	—
計	15,197	9,385	4,466	3,472	32,522	△861	31,661
セグメント利益	31	661	421	346	1,460	△364	1,095
セグメント資産	15,443	6,278	4,915	5,063	31,701	16,668	48,369
その他の項目							
減価償却費	444	165	84	120	815	188	1,004
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	304	124	87	43	560	—	560

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1)セグメント利益(営業利益)の調整額△364百万円のうち主なものは、未実現利益の消去4百万円、クオリケム社買収に係るのれん及び無形固定資産の償却費△369百万円であります。
 - (2)セグメント資産の調整額16,668百万円には、全社資産の金額6,628百万円、持分法適用会社への投資額6,451百万円、クオリケム社買収に係るのれん及び無形固定資産4,688百万円並びに報告セグメント間の債権債務の相殺消去等△1,101百万円が含まれております。
 - (3)減価償却費の調整額188百万円は、クオリケム社買収に係る無形固定資産の償却費であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	2,194.75円	2,217.95円
1株当たり当期純利益	140.91円	72.03円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,913	978
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	1,913	978
普通株式の期中平均株式数(千株)	13,577	13,582

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	31,867	32,170
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	2,069	2,037
(うち非支配株主持分)	(2,069)	(2,037)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	29,798	30,133
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	13,577	13,585

(重要な後発事象)

該当事項はありません。